

GR Garage 浦和美園**TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup****プロフェッショナルシリーズ第1戦****クラブマンシリーズ第1戦****4月6日(日)****オートポリス(大分県日田市)****GR Garage 浦和美園 CAMP レポート**

2025年のGR86/BRZ Cupがオートポリスで開幕。GR Garage 浦和美園は今年もGR Garage 浦和美園 CAMPを実施し、ドライバーサポートを行います。第1戦のプロフェッショナルシリーズにはGBドライバーの吉田広樹選手、同じくクラブマンシリーズにはアマチュアドライバーの大森和也選手が出場。吉田選手の160号車はGR Garage 浦和美園とGR Garage 熊本中央、大森選手の522号車はGR Garage 浦和美園と埼玉トヨペットの店舗メカニックが整備を行います。開幕戦は日曜日に15分間の予選と10週の決勝を行う1日開催。オートポリスは吉田選手がアンバサダーを務めており、地元熊本のファンやユニテッドトヨタ熊本の新入社員などが応援に駆けつけています。

日曜日の天候は晴。プロフェッショナルシリーズの予選は9時30分から行われ、吉田選手は予選開始のシグナルと同時にコースイン。1周のウォーミングアップのあと、2周目にアタックを行います。吉田選手はトップ10を目指して必死のアタックを行います。タイムは2分06秒588。14位で予選を終えました。決勝は15時から行われ、吉田選手はアウト側、14番グリッドから好スタート。イン側から1コーナーに進入します。コースアウトしたクルマがあり、順位をひとつ上げますが、予選16位の元嶋選手(98号車)と争っているうちに後続に抜かれ、15位で1周目を終了。吉田選手は挽回するためにプッシュしますが、仕掛けるたびに後続に抜かれ、2周目に17位となります。その後は青木選手(31号車)を追う展開が続きますが、抜き去るスピードはなく、順位をキープして周回を重ねます。吉田選手はファイナルラップでS耐チームメイトの服部選手(70号車)に抜かれ、18位でチェッカー。地元熊本でポイントを獲得することはできませんでした。

一方、クラブマンシリーズの予選はプロの直前、9時から行われ、前日の雨が残る微妙なコンディションの中、大森選手は残り7分でコースイン。2周目にアタックを行い、2分11秒865をマークします。100Rでわずかにロストしたものの、順位は7位。表彰台を狙えるグリッドを手に入れました。決勝もプロの直前、14時から行われ、大森選手は7番グリッドから好スタート。ひとつ順位を上げ、6位で1コーナーに進入します。大森選手は北見選手(30号車)にプレッシャーをかけながら周回を重ね、3周目の3コーナーでパス。5位に上がると、表彰台を目指してトップ集団を追いかけます。しかし、ライバルのペースは速く、4位との差は徐々に拡大。大森選手は後続との差を気にしながらポジションキープに徹します。大森選手は危なげなく最後まで走り切り、5位チェッカー。表彰台には届きませんでしたが、着実にポイントを獲得。悲願のチャンピオンに向け、第一歩を踏み出しました。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

#160 GRG 浦和美園 IDI BS GR86

吉田広樹選手 決勝 18 位

予選 14 位 (2 分 06 秒 588)

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

#522 GRG 浦和美園 CAMP IDI GR86

大森和也選手 決勝 5 位

予選 7 位 (2 分 11 秒 865)



DRIVERS VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

予選に関しては、うまくいけば 6~8 番手ぐらいまでいけそうな雰囲気はあったのですが、アタックをまとめきれませんでした。決勝でのスタートの蹴り出しは良かったものの、他者とのバトルによる位置取りがうまくいかず、仕掛けるたびにポジションをズルズル落としてしまいました。今回、ユナイテッドトヨタ熊本さんから新入社員の方が来てくれたり、観戦ツアーでお客さんが来てくれたり、たくさんの方に応援してもらいましたが、結果は申し訳ないものになってしまいました。ただ、埼玉トヨペットとユナイテッドトヨタ熊本の GR Garage がコラボする、この活動の意義は活かせたと思います。

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

路面が濡れているかどうかわからなかったのが、ピットでステイし、ライバルのタイムを見てからコースに入りました。アタック中、100R の出口でレブリミットに当ててしまい、コンマ 2 秒ぐらい失ったのと、セクター 3 ではちょっとに置きにいてしまいました。決勝ではスタートでまず 1 台抜き、そのあと 3 周目にもう 1 台抜き、そこまでの展開は良かったです。そのあと、追い上げようと思ったのですが、前の 4 台のペースが自分より速い感じで、ついていくことができませんでした。前よりも後ろを気にして走っていた感じです。今日出せる最大限のリザルトは出せたと思います。



PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



株式会社カーグラス・JP



K-one



埼群スリーボンド株式会社



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビバレッジサービス株式会社



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ブリヂストン



株式会社ミノルインターナショナル



Mechanix Wear LLC



株式会社リキテック



レカロ株式会社

SPECIAL THANKS

